



横光利一と台湾

謝惠貞

東アジアにおける新感覚派の誕生

ひつじ研究叢書〈文学編〉14
横光利一と台湾

東アジアにおける新感覚派の誕生

謝惠貞



9784823411090



1923090062002

ISBN978-4-8234-1109-0

C3090 ¥6200E

定価 6200円+税

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

基隆炭礦株式會社
基隆市旭町参ノ壹貳
電話 壹六〇 壹六貳番

序章 日本統治期台湾における新感覺派

- 1 なぜ台湾における「新感覺派」か……………001
- 2 東アジアにおける新感覺派の誕生のために……………006

第一章

一九三二年—一九三六年横光利一受容の概観
—楊逵と「純粹小説論」を中心に……………011

- 1 文芸復興の台湾への波及……………011
- 2 文芸大衆化との交差——「純文学・芸術派」の位相……………018
- 3 台湾における「純粹小説論」論争と楊逵による受容……………023
- 小結……………033

第二章

明治大学での師事

—横光利一「頭ならびに腹」と巫永福「首と体」……………041

- 1 文体模写の必要……………041
- 2 新形式の主張——「頭ならびに腹」との「象徴」の類似……………050
- 3 子僧の「反速度」論理を継承しながら身体の分裂を描く……………055
- 小結……………061

第三章

構図としての「意識」の発見

—横光利一「時間」と台湾最初の「意識の流れ」小説、
巫永福「眠い春杏」……………069

- 1 「下層描写」という「苦節」——二人の文学反映論……………069
- 2 新感覺派模写からの展開——物語内容としての「意識」の発見……………076
- 3 「眠気」の系譜……………081
- 小結……………097

第四章

植民地的メトニミーの反転

—横光利一「笑われた子」と翁鬧「羅漢脚」……………109

- 1 翁鬧は新感覺派か……………109

ロオハンカア

第五章 翻訳による権威の流用、そして中国新感覚派の誕生
——横光利一「皮膚」と劉呐鷗「遊戯」——

- 2 変貌する植民地のメトニミー……………141 126
- 小結……………141

第六章 越境する言葉とカメラアイ
——横光利一「蠅」と鍾理和「蒼蠅」——

- 1 青山学院卒業生劉呐鷗の上海行と中国新感覚派の誕生……………147
- 2 翻訳集『色情文化』という文化戦略……………153
- 3 中国語短編集『都市風景線』による実践……………169
- 小結……………158
- 1 「言語を越えた世代」の受容……………179
- 2 『新版鍾理和全集』にみる横光利一と日本文学……………180
- 3 許されぬ恋愛・結婚というモチーフ……………190
- 4 カメラアイとしての蠅……………194
- 小結……………194

第七章 孤独な受容

——戦時下における龍瑛宗「邂逅」「ナポレオンと横光利一」による横光利一の受容——

- 1 大東亜文学者大会前後に登場した龍瑛宗の「借り物」……………203
- 2 「邂逅」における横光「頭ならびに腹」のパロディ……………204
- 3 「ナポレオンと横光利一」に見る龍瑛宗の「ナポレオンと田虫」批判……………210
- 4 龍の文学観および横光の「近代の超克」への反響……………213
- 小結……………218

第八章

李箱「童骸」における横光利一の受容
——横光利一「頭ならびに腹」「皮膚」との比較を中心に——

- 1 朝鮮人モダニストによる横光受容の再考……………225
- 2 汽車に乗り込んだ「子供」の蘇生と敗北……………226
- 3 「唯物論」という触角——李箱の「準唯物主義」的芸術論と、横光の「唯物的文学論」……………232
- 4 分身としての女とデッドマスク——矛盾する欲望を描く遺書……………239
- 小結……………246

第九章 東アジアにおける横光利一「皮膚」受容の射程
——劉呐鷗「遊戯」、翁鬧「残雪」、李箱「童骸」をめぐって……………255

- 1 はじめに——横光利一の「恋愛もの」における「皮膚」作品集……………255
- 2 モダンガールが反射したナンセンスの射程……………258
- 3 モダンボーイの恋愛論の敗北とモガの他者化……………265
- 4 結社による宣伝と越境する言語……………270
- 小結……………273

終章 「台湾新感覚派」の系譜——文体と題材の受容と変容……………283

付録論文一 『定本横光利一全集』未収録随筆「台湾の記憶」その他……………291

- 『台湾日日新報』における横光利一……………291
- 1 横光利一に与つての台湾……………291
- 2 資料の初出と本文の翻刻……………292
- 3 初出紙『台湾日日新報』と横光利一……………292
- 4 執筆時期と内容概要……………305
- 5 台湾における「天使」の連載と「純粹小説論」論争……………312
- 小結……………312

付録論文二 「雅歌」「盛装」「天使」における「純粹小説論」の実践他
——横光利一に与つての外地「台湾」の視点から……………317

- 1 横光利一の台湾表象……………317
- 2 「純粹小説論」における新ジャンルの実験……………318
- 3 『台湾日日新報』に純粹小説「天使」を連載する必要性……………323
- 4 「雅歌」「盛装」における、台湾というシンボル……………337
- 小結……………348

卷末資料……………353

- 1 「純粹小説論」論争関連 新発見資料 ①光明静夫〈文芸評論 魂の動きと思想の流れから来る文学〉〔台湾新聞〕、一九三五年四月二四日、②鶴丸詩光〈文藝時評 伏字の陳列——鈴木・都山・八十島〉等一（下）〔台湾新聞〕、一九三五年四月十七日、③中川國雄〈文藝時評 批評精神の問題（上）〉〔台湾新聞〕、一九三五年五月一日、④楊士禮〈小説文学（上）〉〔台湾新聞〕、一九三五年四月二七日、⑤四天王龍馬〈評論の粗雑性 光明氏の魂の文学とは何ぞや〉〔台湾新聞〕、一九三五年五月一日、⑥伊思井日出夫〈純粹小説に就いて〉〔台湾新聞〕、一九三五年五月四日、⑦愛知県瑞穂高校蔵巫永福学籍簿資料表／3 愛知県瑞穂高校蔵巫永福学籍簿資料表／4 巫永福入学時明治大学文科要覧カバ／5 巫永福入学時明治大学文科要覧内ページ（1）／6 巫永福入学時明治大学文科要覧内ページ（2）／7 巫永福入学時明治大学文科要覧内ページ（3）／8 巫永福入学時明治大学文科要覧内ページ（4）／図1 『定本横光利一全集』に未収録の資料「台湾の記憶」〔台湾日日新報〕、一九三八年五月一日／図2 漢文「台湾日日新報」一九二八年一月七日夕刊／図3 『台湾日日新報』一九三〇年四月二六日／図4 『台湾日日新報』一九三〇年一〇月八日／図5 『台湾日日新報』一九三一年一月二二日／図6 竹本伊一

郎【1932 台湾株式会社年鑑】台湾経済研究会一九三二年九月／図6-2 竹本伊一郎【1932 台湾株式会社年鑑】台湾経済研究会一九三二年九月

／図6-3 竹本伊一郎【1932 台湾株式会社年鑑】台湾経済研究会一九三二年九月

謝辞

参考文献

初出一覧

405 379 375

序章 日本統治期台湾における新感覺派

1 なぜ台湾における「新感覺派」か

一八九五年に日清戦争で敗北した清王朝は、その代償として周縁部に位置する台湾を、新たに勃興した大日本帝国に割譲した。以後一九四五年、第二次世界大戦終戦まで半世紀にわたる日本統治期において、台湾では、同化政策にもなって日本語が漢民族と原住民の間に浸透していく。日本統治期台湾における文学の最大の問題とは、言語的アイデンティティであったと言えよう。母語としての台湾語、「祖国」中国の近代的白話文、「宗主国」日本の日本語をどのように選択し駆使するかということは、作家として自身の立ち位置を示すことになった。言語の選択については、一九三七年に新聞の漢文欄が廃止され、公の場での日本語の全面的使用を余儀なくされるまでは、絶え間なく議論されていた問題である。

また、台湾の新文学は日本に対する抵抗運動の一環としても展開されていたため、一九二〇年代には社会運動や新文化運動としての役割も大きかった。ところが一九三一年代に入り、総督府の弾圧により台湾共産党員がほ

◎ 著者紹介 — 謝惠貞 (シヤイジン)

〈略歴〉一九八二年台湾・彰化生まれ。東京大学大学院人文社会学系研究科修了。博士(文学)。台湾・文藻外語大学日本語学科学准教授。

〈主な著作〉『「国語」への質問状——在日台湾人作家温又柔「真ん中の子どもたち」を中心に』(『台湾日本語文学報』四二号、二〇一七)、『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』論——巡礼の意味をめぐって』(『越境する中国文学——新たな冒険を求めて』東方書店、二〇一八)、『越境するノスタルジア——東山彰良『流』におけるアウトロー像を通して』(『東アジアにおける知の交流・越境・記憶・共生』国立台湾大学出版中心、二〇一八)、『在日台湾人作家温又柔『空港時光』研究——「内なる外地」と自我表象の連動』(『旅する日本語』京都・松籟社、二〇二二刊行予定)ほか。

Chiang Ching-kuo Foundation for International Scholarly Exchange Publication Subsidy (2020)

ひつじ研究叢書(文学編) 14

横光利一と台湾——東アジアにおける新感覚派の誕生——

モダニズム

Yokomitsu Ritschi and Taiwan: The Birth of Sensationism (Modernism) in East Asia
Xie Hui-zhen

発行 2021年12月24日 初版1刷

発行所 株式会社ひつじ書房

〒112-0011 東京都文京区千石2-1-2 大和ビル2階

Tel. 03-5319-4916

Fax. 03-5319-4917

郵便振替 00120-8-1422052

toiwase@hituzi.co.jp <https://www.hituzi.co.jp/>

ISBN 978-4-8234-1109-0

定価 6200円+税

著者 ◎ 謝惠貞

発行者 松本功

ブックデザイン 坂野公一 (yelle design)

印刷・製本所 亜細亜印刷株式会社

◎ 注文には充分注意しておりますが、落丁・乱丁などがありましたら、
小社がお買い上げ店にておとりかえいたします。

◎ ご意見、ご感想など、小社までお寄せ下されば幸いです。